

第37回医療情報学連合大会チュートリアルセッション

日本発（初）－医用波形データ（MFER）の国際標準化の未来－

本チュートリアルでは MFER 規格の国際標準化に向けた取り組み全般を解説しつつ、現在、審議中の負荷心電図の現状と新たに検討を始めた脳波詳細規格について、ISO での取り組みを紹介する。また、MFER の今後の活用にも焦点を当て、関係者に広く知らしめると共に課題解決に向けてのディスカッションを行う。

チュートリアルセッション

セッション名：日本発（初）－医用波形データ（MFER）の国際標準化の未来－

プログラム番号：1-G-1-TS6

日時：11月20日（月） 13:15-14:45

会場：第37回医療情報学連合大会G会場（グランキューブ大阪）

参加費：無料

定員：100名

申込方法：当日先着順（定員100名になり次第締切）

医療情報技師ポイント付与 1ポイント

プログラム

1. 国際標準化に向けた取り組み

田中 雅人（ISO/TC215 エキスパート／日本光電工業株式会社）

2. パート4 負荷心電図規格の ISO 化状況について

小林 聡（ISO/TC215 エキスパート／フクダ電子株式会社）

3. パート5としての脳波規約について

松元 恒一郎（ISO/TC215 エキスパート／日本光電工業株式会社）

4. 臨床の立場から

田村 光司（メディカルストレージ／東京女子医科大学）

5. 医用波形の活用

平井 正明（ISO/TC215 エキスパート）